



京都部 部長主題

「人生は一度きり Part 2」 ~ワイズライフで人生を謳歌しましょう!~ 京都部部長 中村隆司 (京都ウェル)

西日本区理事主題

スローガン

Challenges for the future 未来への挑戦 羽ばたこう! 2022年ワイズ100周年に向かって!

西日本区理事 新山兼司 (京都トップス)

国際会長主題スローガン

"Y's Men with the World"「世界とともにワイズメン」 "Heal the World with Love & Dignity" 「愛と尊厳で世界を癒そう」

国際会長 (IP)
Kim Sang-chae (韓国)

アジア太平洋国際地域会長主題 スローガン Make a difference beyond the 100th「100年を超えて変革しよう」 "Be healthy!" 「健康第一!」

アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

上半期を終えて

京都部部長 中村 隆司 (京都ウェルワイズメンズクラブ)

京都部の皆様こんにちは!昨年も何かとお世話になり有難う御座いました、今年も引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。そして皆様には日頃からワイズ活動にご尽力を頂き、また京都部の事業への多大なるご支援ご協力を賜り、本当に感謝申し上げます。

さて二期連続のコロナ禍の中でのスタートから早くも半年が終わりましたが、 前期の部報第2号の発行の時には2回目の緊急事態宣言が出ており、それからも 1年の間に何度となく緊急事態宣言や蔓延防止措置が出され、また何回もの波が



押し寄せ、今も第6波が来ている状況で、コロナの蔓延状況は前期とさほど変わりませんでしたが、やはりウィズコロナであったりニューノーマルな生活様式が定着してきた影響からか、上半期は前期ほどの影響は無く、皆様には積極的に活動をして頂く事が出来たのではないかと思います。

今期は部長公式訪問も、2クラブがズーム開催となり3クラブが延期となりましたが、13クラブには予定通り開催して頂く事が出来、私の思いであったり方針や計画をお伝えさせて頂く事が出来、また何よりも親睦交流が出来た事に感謝申し上げたいと思います。そして各事業委員会活動ですが、Yサ・ユース事業に関しましても、YMCAの事業のサポートを主とし、各施設のワークを始め、ソラシドキャンプやオータムフェスタ、市民クリスマスのコンサート、礼拝、キャロリング等ほぼ計画通りに活動を実施して頂く事が出来たと思います。そして地域奉仕・環境事業では、皆様のご協力のお陰で2年越しの念願が叶い、天候にも恵まれ、無事にワイズデーを盛大に開催させて頂く事が出来ました。本当に言葉に言い表せられないくらい感謝の気持ちでいっぱいです!またその際には、各クラブの皆様にも久々にメンバー同士での親睦交流をして頂けてとても良かったと思います。またEMC事業でも、各クラブの皆様が積極的にメンバー候補をお誘い頂き、コロナ禍の状況のなか入会式を執り行って頂き、メンバー増強に結果を残して頂いた事に御礼申し上げます。そして国際・交流事業ではIBCやDBCの締結こそ有りませんでしたが、締結に向けて積極的に活動をして頂いているクラブも有り今後が楽しみです。またメネット事業では、今期はヘアードネーションに沢山のご協力を頂き、社会貢献に繋がる事業が出来たのではないかと思います。そしてPR委員会でも、内外に積極的に活動のアピールをして頂き、日々ホームページの更新にご尽力を頂き感謝申し上げます。

残りの半年間もまだまだ沢山の事業が予定されております。コロナの状況がどのように変化をしていくかは全く読めませんが、引続き命と健康を第一に考えながらワイズ活動にご尽力頂けたら幸いに存じます。そして4月に延期開催させて頂く京都部会が無事に開催出来ることを祈るばかりです。皆様、最後に一言「楽しくなければワイズじゃない!残りの半年もワイズライフで人生を謳歌しましょう!」

■上半期を終えて 部役員



次期部長 石倉 尚 京都キャピタルワイズメンズクラブ

次期まであと半年を切りました。11月には西日本区次期役員研修会に参加し、主題と方向性が決まりました。入会して間もない頃、クラブの役を頼まれた時「出来ないと思ったら頼まない」と言われ役を受けたことが未だに思い出され、「ハイ!喜んで!」を実践してきました。頼まれれば快く引き受け、自分の思いや考えを実現させるチャンスです。せっかくワイズに入ったのなら大いに楽しんで

成長すべきだと思います。お陰さまで次期の主査も決まり、これから準備を整えていきます。引き受けていただいた役員の 皆様には、役を受けて良かったとこれから役を受ける人に伝えられるよう大いに楽しみ活動していきます。 3 月には次期会 長主査研修会が開催され、次期京都部の目標をお伝えします。メイン事業となる部会を 9 月 3 日(土)に開催いたします。 皆様どうぞよろしくお願いいたします。



監 事 **島田 博司** 京都ウエストワイズメンズクラブ

不安と期待と様々な想いが交錯する中でスタートした 26 期ですが、当初緊急事態宣言が出され、不安の中でのオリンピック・パラリンピックの開催も、日本勢のメダル奪取で日本中が沸き立ち、そして希望を持ち、次第にワクチン接種が進んで宣言も解除され、ワイズ活動も 3 か月後にやっと制約付きではありますが前に進んできました。前期ではきなかった部長公式訪問や、各主査の懇談会、そし

て何と言っても中村期肝いりの事業であるワイズデーがたくさんのご参加の中開催、そして成功したことは何とも言えない達成感と安堵した気持ちでいっぱいでした。各クラブの会長様も工夫を凝らしての例会開催や事業を行うことでより一層クラブ内での結束が高まったのではないかと思います。まだまだ油断を許さない状況ではありますがあと半年、無事期末までこの状況が悪くならないことを祈るばかりです。会長・主査の皆さんにおかれましては 26 期の集大成を、そして次期にうまく引き継ぎできますようにどうぞ最後までよろしくお願いいたします。



統括担当主事 藤尾 実京都 YMCA

昨年 7 月に始まったワイズメンズクラブ京都部中村部長期も上半期が過ぎました。今期は、新型コロナウィルスの影響を受けながらも、ワイズメンズクラブの活動も例会をはじめ、徐々に再開することができました。なかでも、11 月開催のワイズメンズクラブ京都部主催のワイズデーは、舞鶴の海を楽しくきれいにする、環境問題と地域課題へのアクションで社会貢献となる、まさに SDG s の取り組

みでした。また、サバエ教育キャンプ場・リトリートセンターの維持管理ワークやリトリートセンターオータムフェスタ運営、 各種寄付金へのご協力など、京都YMCAの諸活動に多大なご支援をいただき感謝申しあげます。

現在、京都YMCAでは、「地域から必要とされる存在になる」を主題として、2021 年度に中期計画を策定し、2023 年度までの 3 か年で既存事業や組織の改革を進めていこうとしています。この中期計画において、京都YMCAは、地域や人と人とのつながりを生かして新たな取り組みに挑戦し、地域社会への貢献、そして持続可能な YMCA 活動の推進に努めていきます。その取り組みを、ワイズメンズクラブメンバーのみなさんと共にすすめてまいりたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



書記 **今村 隆宏** 京都ウイングワイズメンズクラブ

第 26 期京都部中村部長の第二章は、コロナ第 4 波が終息に向かう頃、東京オリンピックも開催に踏み切り、少しは光が見えてきた様に感じながらスタートを切った。25 期に出来なかった事を存分に楽しみ、記憶に残る 26 期にしたいと。東京オリンピックも無観客での開催、沢山の感動と勇気を頂いたが、その代償は大きくコロナ第 5 波に翻弄されました。京都部各クラブもこれまでの経験を活かし、コロナ

対策を講じながら例会の重要性を考え、開催されるようになりました。10 月に予定をしていた京都部会は中止という選択を避け、一旦4月に延期するという事で決まりました。11月7日に開催されたワイズデーについては、スポ GOM I 様との協力のもと、舞鶴という地で北京都フロンティアクラブにもかなりのご協力をお願いし、京都部が一つになった中村部長らしい記憶に残る、素晴らしいワイズデーになりました。コロナもオミクロン株に変貌し日本に入って来ました。京都も3人が市中感染し、又気の抜けない日々が続くのか?一日も早く終息する事を願うばかりです。この原稿を書いている今日は12月25日、メリークリスマス!! 令和4年はコロナの無い生活を、そして4月の京都部会をみんなで創り、みんなで思いっきり楽しみたいと願っています。



書記 **松田 博一** 京都ウェルワイズメンズクラブ

京都部の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、京都部役員を拝命し、はやくも 1 年半が過ぎてしまいました。役員の半期報告としては、あまり例のない書き方になりますが、これもコロナ禍の影響であります。本当に"あっ"という間の 1 年半でありました。役員の報告の中で、このコロナ禍について触れられている方もおられることと

思いますが、私も今回のコロナ禍でワイズメンのありようについて考えさせられることが多くありました。その中の一つが、中村部長が大切にされているワイズメンズクラブにおける交流と、コロナ禍における接触を避ける行動とのバランスの難しさです。各クラブおかれましては、いかがでしたでしょうか。今後、このような事態はいつ起こるかわかりません。環境問題など様々な社会問題について取り組みを始めているワイズメンズクラブにおいて、今回のような感染症に対する認識と対応についても、統一した見解を持っておく必要があることを強く感じました。

今期は、下半期に京都部会が控えています。今後議論を深めていかなかければならないのではないでしょうか。



会計 **小野 敏明** 京都プリンスワイズメンズクラブ

第2次中村部長期も上半期を終えて、いざ下半期へ。準備期間を含めると、第2次中村部長期に お邪魔してから、約一年が経過。この間、コロナウイルスの感染急拡大など、緊急事態宣言やまん 延防止等重点処置などが頻繁に発令され、先行きが見通せない部運営が強いられた。

部会やワイズデー開催の是非や、各事業主査懇談会開催の時期や方法など、刻々と変化する状況 に対して最善の方法で対応できたのではないかと思う。ひとえに、中村部長のリーダーシップ、部役員皆様のご尽力の賜物であり、三役として一助になれた事を嬉しく感じております。

残念ながら部会は延期となりましたが、ワイズデーは大盛況のうちに終える事ができました。半年前には、現在の状況が想像できなかった事と同様に、下半期も見通せない状況が続きますが、部三役として京都部の一助となるべく尽力してゆく所存です。最後に4月の部会、楽しみましょう!

■上半期を終えて 部役員



事務局長 西村 和真 京都洛中ワイズメンズクラブ

前期一年を通してコロナ禍でのワイズ活動を経験し、何も出来なかったとは思っていません。事業は中止もありました。歯がゆい思いも何度もしました。しかしこの経験がないと見えなかったものも沢山ありました。中村部長が何時も発信する「楽しくなければワイズじゃない!」楽しいにも色々ありますが、私はこの京都部の役職をいただいた一年半(準備期間からすると二年間)、存分に楽しんでいます。そし

てこの一期一会の時間を共有出来ているすべての仲間に感謝しています。下半期も皆でワイズを楽しみたいと思っています。 下半期も数々の事業を予定しております。そのすべてが達成出来ることを祈り、たくさんの新たな出会いと交流と素晴らしい 未来の光を見たい。そう心より願い今日出来ることを頑張っていきます。皆様下半期もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

■上半期を終えて 事業主査



再びYMCAと共に動きだそう!

YMCA サービス・ユース事業主査 **佐古田 正美** 京都 ZERO ワイズメンズクラブ

2021-22 京都部 YMCA サービス・ユース事業主査を拝命して早や半年が過ぎようとしています。当 Y サ・ユース事業は創立以来、京都部の中核をなす事業であり、京都府宇治市の京都 YMCA リトリートセンターや滋賀県近江八幡市の京都 YMCA サバエ教育キャンプ場(残念ながら惜しまれつつ、2021 年 9 月 26 日に閉場)の運営・管理のサポートを中心に、京都 YMCA が企画・開催するさま

ざまな収益・慈善事業(秋のオータムフェスタ、春の桜フェスタ、AIDS 文化フォーラム、クリスマスロビーコンサート、チャリティーゴルフ大会、ミニバスケット大会等)のサポートや、主査自身が主催する京都部 Y サ懇談会と Y Y Y フォーラム等、実に盛りだくさんの内容です。自身が主査を拝命して一番嬉しかったことは、自クラブ(京都 ZERO クラブ)の澤井会長、熊谷 Y サ・ユース事業委員長始め、各メンバーが Y サ事業に対して例年以上に全面的な参加協力をしてくれたことでした。今期の自クラブ活動で小生は、無理をお願いして役員や三役から外していただいたので、自クラブ自体の運営計画があまり見えていなかったのですが、知らぬ間にサバエキャンプ場の 2 回の開設ワークや 2022 年 3 月のミニバスケット大会の両日参加(例年は協力金参加のみ)を決議してくれ、またそれぞれの事業への参加人数も大幅に増やすことが出来ました。部に主査を配置することの重要性を痛感したこの半年でした。

また、感慨深かったのは、前述した京都 YMCA サバエ教育キャンプ場の閉場式参加でした。当日はあいにくの雨模様のなか、YMCA 内外のサバエに深く関わって来られた方々をお招きして設立当時の貴重なお話を伺って、サバエ 73 年の歴史に多少なりとも触れることが出来、実に有意義な時間を持てました。







地域奉仕で新たな出逢いを、 悪 未来へつなごう環境事業

地域奉仕・環境事業主査 **藤松 幸一** 京都パレスワイズメンズクラブ

まだまだ不安を残すコロナ過ではございますが、少しずつ平穏な日常化へ回復はしてきております。 京都部各クラブの皆様におかれましては、日々のワイズ活動を誠にありがとうございます。 さて、地域奉仕・環境事業は皆様のクラブでそれぞれのサポートを継続されている事でしょう。

残念ながら接触を控えられる施設や、恒例行事でいつものような人数も集められない状況が今だ続い

ております。今後も、コロナウイルス感染状況に伴い活動していくことが日常化されるでしょう。

期初に申し上げましたように、新しい生活様式に沿った地域奉仕・環境事業に各クラブの皆様も模索されていると思います。 京都部でも皆様の活動事例や対策、新たな取り組みをご報告いただき、PR 委員会と共有して皆様に情報を発信できればと考 えております。

上期に関しましては、皆様のご協力を賜り、予定しておりました事業は対面と IT を利用しながら懇談会も開催でき、順調に終える事が出来ました。

特に11/7に開催させていただいたワイズデーには、コロナ過で集まりや活動が出来なかった緊急事態明けもあり、233名と本当に多くのメンバーがご参加くださった事に改めて感謝申し上げます。久しぶりに各クラブのメンバーが集い、共に活動し親睦を深めワイズライフを味わう大変有意義な時間となりました。今回は、舞鶴 YMCA 国際福祉専門学校と北京都フロンティアクラブの皆様には多大なるご尽力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。京都北部で活動され、今回のワイズデーを機にワイズメンズクラブ・YMCA の理解が深まり、北京都舞鶴地域の皆様にさらなる認知が広がれば幸いです。

また、京都部の各クラブの皆様も北京都フロンティアクラブと合同例会や共同事業で交流を盛んに行って頂き、このような企画が次回も行える事を願っております。

そして、前期の企画を継続し『第2弾!綺麗やわ大作戦』を今期も開催させて頂いております。すでにご案内され実施されたクラブもございます。是非とも皆様の日々活動や地域に貢献している姿を記録に残し、より美しい京都の街並みを維持してワイズメンズクラブの活動を多くの方に知って頂く機会になれば幸いでございます。残り半期となりますが、まだまだ新たな感染株も囁かれ、身近なリスクもございます。状況をよく判断し少しでも皆様のご活躍に貢献できますよう取り組んでまいります。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



■上半期を終えて 事業主査



主題

Let's Be Strong

EMC 事業主査 **合田 太一** 京都ワイズメンズクラブ

皆様、いつもワイズメンズクラブの EMC 活動にご尽力賜りまして誠にありがとうございます。 早いもので 7 月にスタートした中村部長期 vol2 も約半年が過ぎました。EMC 事業主査として最初のお 仕事は、4 月の EMC 事業懇談会のズームでの開催でした。期が始まる前の招集でしたが、各クラブの 皆様に集まっていただきまして、今期の提出書類等の説明を早い段階で行う事が出来たのでスムーズな

スタートを切れたのかなと思います。7月からは、部長公式訪問での各クラブ様への訪問や入会式にお呼びいただきまして、お話をさせていただきありがとうございました。コロナの影響で、いくつかのクラブは例会も行えない状態があり、部長公式訪問も中止になったクラブもあり残念でしたが、また落ち着いたら訪問させていただきたいなと思っております。11月には、コロナの影響でずっと延期をしておりましたが、皆様のおかげで対面でのEMC懇談会を開催する事が出来ました。やはり対面で行う話し合い、意見交換は ZOOM とは全然違いますね。参加いただけました皆様と、有意義な時間を過ごさせていただきました。講演いただきました山口主任、EMCアドバイザーのお二人のお話も大変すばらしく、前向きな考え方が出来たかと思います。下半期に向けては、またコロナとの闘いになりそうですが、これまでの経験を生かし、みんなで力を合わせ乗り越えていきましょう!



新しい交流様式 一 〜 白クラブ時間を楽しもう! 〜

国際・交流事業主査 **牧野 万里子** 京都ウエストワイズメンズクラブ

早いもので、今期も上半期が過ぎました。期の始まりと共にコロナ感染の第 5 波が訪れました。緊急事態宣言が発令され、部長公式訪問は時間短縮、リモート開催への変更、事業懇談会、交流会の延期や中止など、交流活動もかなり制限され、先行きの不安なスタートとなりました。ところが 10 月頃にはコロナ感染も収束の兆しが見え始め、お陰様で 10 月には国際・交流事業懇談会、懇親会を開

催することができました。国際 EF 主任様、西日本区理事、事業主任、各クラブ会長様、事業委員長様はじめ約 50 名のご参加をいただき、メンバー間の活発な意見交換を行う事ができました。そして、11 月には部長の熱い思いと共に、京都部一丸となって準備を進めてきた、~"べっぴんな海大作戦!"京都部ワイズデー in 舞鶴~、が開催されました。約 200 名のメンバーが舞鶴の海岸に集まり、笑顔とエネルギーに満ちた一日となりました。

また、各クラブから、DBC 締結の具体的な計画、リモートでの IBC 交流、他クラブとの交流ゴルフコンペ・懇親会など、コロナ禍でもできる交流活動の報告が寄せられました。今期主題とさせていただいた "新しい交流様式"、各クラブさんの活動報告から、次々に新しい交流様式が生み出されていることを実感致しました。

下半期もコロナ感染についてはまだまだ不透明な状況が続くことでしょう。

そんな中でも、新しい交流様式と共に"with コロナ"!

皆様と共に交流を通じて、ワイズの醍醐味を満喫できることを願っております。



^主 和・輪・笑 ~今期こそ・・・~

メネット事業主査 中村 典子 京都ウェルワイズメンズクラブ

2 期目のメネット主査も早いもので上半期が終了致しました。前期中止になった部長公式訪問も今期は実施となり、沢山のクラブへ随行として訪問させていただく事が出来ました。どのクラブの皆様も温かく迎えて下さり、対面でお逢いする事の大切さを改めて実感し、今まで当たり前だった事へ感謝する機会をいただいたように思います。事業としましては、西日本区のメネット事業である、病気

の子供達の為のヘアードネーションへのご協力をお願いしてまいりました。皆様のご理解のもと沢山のご協力をいただき、早々に 15cm ~ 30cm の募集は終了となりました。引き続き 30cm 以上は受付けておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。下半期にはメネットアワーの開催を予定しております。お一人でも多くのメネット、コメット、メンバーの方々とお逢いし、楽しい時間を過ごせる事を楽しみにしております。今期が終わる 6 月末まで、息切れする事無く走りきろうと思っておりますので引き続きどうぞ宜しくお願い致します。



主 出会いから始まるワイズの輪。 題 伝えよう楽しみの輪!

 PR 委員長

 近藤 敦无

 京都東稜ワイズメンズクラブ

今期もあっという間に半年を終えました。

今期は、コロナの状況も少し感染状況が穏やかなスタートとなり、各クラブの事業なども比較的に実施できる状況となったのではないでしょうか?

部長公式訪問も延期等となったクラブもありましたが、しっかりと実行する事ができ、数クラブへ随行させていただきました。広報活動はかなり難しいと実感し、アピールし続けなければいけない事、発信しないと伝わらない事をお話しさせていただきました。そんな中で、各クラブからの事業主査に対する事業報告が少しではありますが、増えている様に感じます。京都部ホームページに主査通信のコーナーに皆さんのご報告が事業主査を通じ報告されております。是非、ご覧ください。また、積極的にブリテンを発行していただいているクラブ、私宛に届けていただいているクラブのブリテンには一通り読ませていただいております。PR懇談会を開催させていただいた際にも紙媒体のブリテンの発行を力説されていたクラブが数クラブ有り、紙媒体の重要性にも改めて気づかされました。そしてなんと言っても、上半期には2年越しで計画した「ワイズデー」が、晴天のもと無事に多くのクラブメンバーの皆さんに参加いただき開催できた事に嬉しく思いました。まだまだ、PR活動という意味では反省点が残ると感じましたが、まずは参加された皆様の楽しそうな姿を見るだけで「良かった!」と感じられました。昨年末からオミクロン株の感染拡大と共に事業の実施がまた難しくなってきておりますが、どの様にすれば開催できるかを工夫し、事業を実施していただきアピールいただきたいと思います。

皆様のこれまでのご協力に感謝申し上げると共に、引き続き、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

■上半期を終えて 各クラブ会長



主題

「将来を見据えたクラブづくりを目指して」

Think on the run

京都ワイズメンズクラブ 会長 井上 和久

昨年度は新型コロナウイルスの影響により、例会や事業の大半ができませんでしたが、今期は、7月のキックオフ例会をホテル開催できました。8月は野外例会を予定しておりましたが、コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言下であったため、やむなく中止いたしました。9月の部長公式訪問例会は、8月同様、緊急事態宣言下であったため、時間を大幅に短縮したものの、ホテル開催ができました。10月、11月例会は予定通り開催ができました(11月は記念月例会)。11月以降は緊急事態宣言が解除され、徐々にクラブ本来の事業実施が可能になり、11月7日の京都部ワイズデー(舞鶴)、11月14日京都クラブワイズデー(三条YMCA前)、



11月27、28日三条本館クリスマス飾り付けを行いました。12月21日の役員会終了後、1年ぶりにクラブメンバーが集い忘年会を開催しました。下半期もできる限りの事業を行うとともに、来年度当クラブ75周年に向けての準備と引き継ぎを行っていきたいと考えております。若いメンバーも増え、クラブに新しい風が入ってきています。これまでのクラブの長い歴史やベテランメンバーの知賢を若いメンバーに浸透させつつ、新しいクラブの在り方について、メンバー全員で考えていきたいと思います。



主題副題

次の半世紀へ歩き出そう

新しい時代に調和したクラブを目指す

京都パレスワイズメンズクラブ 会長 **後藤 有志**

7 月に初めて開会点鐘をしてから、早いものでもう半年を過ぎようとしております。緊急事態宣言により、何度か開催できなかった例会やイベントもありましたが、年末にかけて新型コロナの状況も落ち着きをみせはじめ、上半期の後半戦においては、ほぼ全ての事業を行うことができました。Y サ事業では、サバエの開設ワークからのスタートでしたが、本年度が最後のサバエワークになるということで、メンバー一同パレスキャビンの掃除をした際に、これが最後の清掃になるのかと、とても感慨深い気持ちになりました。そして、パレスクラブとしては久しぶりに、オータムフェスタに出店させていただきました。YMCA 三条保育園の影響なのか、非常に子供を伴った家族連れ



の参加が多く、活気のあるイベントになっておりました。そして CS 事業におきましては、昨年開催できなかったワイズデーを行うことが出来ました。多くのワイズが舞鶴に集結し、400 kg を超える海岸のゴミを集めることが出来ました。とても良いイベントになったと思います。昨年は、コロナの影響で、実現しなかった多くの事業を行うことが出来、非常にやりがいのある上半期となりました。ともに活動して頂いたメンバーの方々には心から感謝申し上げます。また、下半期の方も、なるべく予定通りの事業ができればと思います。そして下半期の5月7日には、昨年開催できず延期した「50周年記念例会」控えています。これは、今年度の最も大きなパレスクラブのイベントとなりますので、今からしっかりと準備を行い、多くのワイズメンをお迎えしたいと考えております。皆様、下半期もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



「自輪公輪」(造語。自分が回ることで周囲を回していこうという意)

素直な心で荒野を耕す

京都ウエストワイズメンズクラブ 会長 福田 英生

7月にキックオフ例会が実施する事が出来まして42期をスタートさせま した。しかし、8月・9月に緊急事態宣言となり、オンライン活動を余儀 なくされました。オンラインでも次第に活動が出来る様に皆で話し合って 体制を整えました。10月(部長公式訪問)から通常に戻って中村部長も 元気よくご講演頂きました。活動の方では皮肉にもサバエ閉所式から始ま り雨の中の参加を覚えています。YMCA の方も活発になり特にオータム フェスタでグルメを楽しませて頂きました。ワイズデーでは舞鶴・神崎海 岸内でキレイやわぁ大作戦企画 SDGs として多数の参加者で盛り上がった ことは今も目に焼き付いております。又、クリスマス例会では何とかキッ



ズも参加してもらって、ゲストに新しいシンガーソングライターをお招きして全員が感動に包まれたことを覚えています。クリ スマスコンサートは京大音響部の弓が素晴らしい四重奏だったのが印象的でした。内輪の忘年会も無事に実施され、有終の美で 半期を飾る事が出来ました。年が明け活動が危ぶまれますが、積極的に参加したいと思いますので京都部の皆様、今後とも宜し くお願い致します。

(2022年の抱負)

「自輪公輪」のスローガンの元に昨年よりも活発に動いていこうと思っています。1 月は 3 クラブ(洛中・みやび)合同例会を 皮切りにコロナ禍においても交流の大切さを理解し開拓の精神をもってメンバー一丸を目指そうと考えています。各々の委員会 にも積極的に引っ張りクラブの発展に力を注いでいきます。2月はTOF例会で講師を呼び改たな学習を身に付けていきます。 寄付においても継続して実施する方向で活動して参ります。クラブとしての SDGs を考えて一つでも多く実行する所存でござい ます。その節は京都部の方々にもご協力頂きたく思っております。残りの月も只今計画中とだけ申し上げ報告とさせて頂きます。



京都部ワイズデー 写真館

基調講演編









京都めいぷるワイズメンズクラブ 会長 内藤 昌希

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。 上半期はコロナの影響が大いにあり、思うように活動ができないこともありました。クラブの行事や支援先の行事が中止になることもあり、寂しい半期でした。YMCA に関する活動としましては、まず7月に行われたサバエキャンプ場開設ワーク。場内の整備やポール立て等を例年通り行いました。長い歴史のあるこのキャンプ場も9月で閉鎖という事で非常に寂しく思います。ただ、ここで楽しまれた思い出は生涯残ります。今までありがとうございました。11月に行われた宇治のリトリートセンターオータムフェスタでは、我々はキーマカレーを出しました。たくさんの量を用意し



たので多くの人に召し上がっていただけました。皆様に「美味しい美味しい」言っていただけて非常にやりがいを感じました。 来年も参加したいと思います。ワイズデーでは舞鶴の海岸でのゴミ拾い。思った以上にゴミが落ちていた事に驚きました。基調 講演では、今まであまり気にしてこなかった海洋ごみの問題。とんでもない量のゴミが海へ流されている事を知りました。我々 も少しでも海へ流れ出るごみを減らせるよう努めたいと思います。さて、1月からは下半期。自クラブ内の行事だけでなく、チャ リティーボウリングや車椅子駅伝、リトリートセンター夜桜フェスタ等に参加し、京都部や YMCA の活動にも力を入れて行きた いと思います。また新たな脅威であるオミクロン株もでてきましたが、感染拡大を防ぎつつ活動していきたいと思います。 下半期もよろしくお願いいたします。



SAVE THE EARTH 豊かな地球を未来へ届けよう

京都キャピタルワイズメンズクラブ 会長 **亀井 久照**

キャピタルクラブの会長として半年が過ぎました。京都部の評議会や懇談会には参加する機会がありませんでしたが、中村部長はじめ、多くの役員、会長の皆様に温かい声をかけて頂き、楽しい半年を過ごさせて頂きました。また、キャピタルの会長として全力で支えてくれているキャピタルクラブのメンバーにも感謝の気持ちを感じています。8月から10月にかけてはコロナが蔓延し、中村部長肝いりの舞鶴市でのワイズデーも開催出来るか心配でしたが、何とか感染が納まり、無事に開催出来ました。キャピタルではEMC 親睦旅行も兼ねて一泊二日で参加させていただき、天橋立や伊根観光を楽しむ事が出来ました。ワイズデーと共に今期の一番の思い出になっ



たと思います。半期を振り返ると、コロナの影響でワイズの活動も思うように出来ませんでしたが、IBC、DBC トライアングルを結んでいる東京クラブと台北クラブにメンバー全員の紹介動画をクリスマスメッセージとして贈りました。とても喜んでいただき、是非3クラブでオンラインミーティングを開催しようという事になり準備を進めています。そして遠方へは出掛ける事は出来ませんでしたが、ウェストクラブさんのお誘いで 12 月に交流会を行いました。意外と京都部内での交流の機会が少なく森田恵三ワイズと故 岡本尚男ワイズの築いた絆を深める事が出来ました。残りの半期は力を合わせて工夫して、クラブの事業を進めていきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。また新たな脅威であるオミクロン株もでてきましたが、感染拡大を防ぎつつ活動していきたいと思います。下半期もよろしくお願いいたします。



主題

過去には感謝を、現在には信頼を、未来には希望を

何事も一生懸命

京都プリンスワイズメンズクラブ 会長 **飯尾** 豊

光陰矢の如しと申しますが、早いものですねもうキックオフ例会をしてから半年が経ちました。さて我がクラブの活動報告をさせていただきます。7月第一例会は恒例のサバエキャンプ場の清掃から始まりました。コロナの感染が徐々に拡大してきている状態でしたが、子供達が夏休みに楽しく過ごせるようにと、また今年でこのサバエキャンプ場が閉所されると聞きいつもの以上に丁寧に作業を行いました。非常に残念です。8月プリンスクラブがサポートしている青い空と白い雲のキャンプが行われ、私は入会して以来ずっと参加して来ました。そのキャンプに最後のサバエ族で出演しましたがコロナ禍の影響で子供達はZOOMで参加、何か物足りなさを感じま



した、9月はコロナの第5波に見舞われホテルも閉鎖、主にZOOMを使用しての例会でした。10月いよいよサバエキャンプ場も解体工事が始まり有志が集まりサバエキャンプ場で飯盒のご飯を食べる例会を行いました。最後に我がクラブが建てた炊事棟の前で記念写真を撮り、別れを惜しみました。コロナもだいぶ落ち着いてきましたので昨年は出来なかったグローバルクラブ様ウェルクラブ様とで3クラブ合同例会を行いました。その例会でグローバルクラブ様に3名に入会され入会式を執り行われ喜ばしい例会となりました。11月12月はコロナも落ち着き通常通りの例会が開けました。これからの半年ですが35周年記念例会を3月行います、先ずは3月13日に周年記念としてYMCAの協力を得ましてスポーツフェスティバルをおこないます。つづいて3月20日に昨年コロナ禍だったので準備も出来ず規模を縮小して記念例会を行います。我がクラブは少ないメンバーですがアイデアと行動力が有ります。きっと成功させてくれると思っております。また新たな脅威であるオミクロン株もでてきましたが、感染拡大を防ぎつつ活動していきたいと思います。下半期もよろしくお願いいたします。





風の時代に生きる

これまで通りの価値観やルールにとらわれず「風のように」軽やかでしなやかな発想で クラブ活動を変えていきましょう。

新年度に入りまして、7月から12月迄 公式例会は、7月のキックオフ例会と、12月のクリスマス例会の2件のみで、まだまだコロナの影響が残っています。以下行事内容列記します。例会7月15日キックオフ例会及び年次総会。講師=松田敦子氏(フランシュエットの健康講座) 会場=ハートンホテル。12月18日=クリスマス例会。ゲスト講師=クラウンドレミちゃん 夫ブローさん。クリスマスパフォーマンスショー。会場=ハートンホテル。役員会7月6日。8月3日。9月7日(ウェブ会議)10月5日。11月2日。12月7日。新旧会長を囲む会=11月18日=場所=ウィズユー。京都部評議会。6月20日=ウィングス京都。9月12日=(ウェブ会



京都センチュリーワイズメンズクラブ

会長 平井 一郎

議)。11月7日=ワイズデー(舞鶴方面)。Yサ関係。9月5日リトセンワーク=草刈り。11月14日=オータムフェスタ(焼き芋)芋でのエピソード。鍋に水を入れて、直ぐに芋を二つに切って炊きました。後で開きますと、一本丸ごと煮立ててから入れるとの事です。勉強に成りました。他に地域奉仕。EMC事業、国際交流会。ワイズデー。オータムフェスタ実行委員会。各出席等です。最後に本年1月から6月迄の行事が全て実行出来ます事願っています。

また新たな脅威であるオミクロン株もでてきましたが、感染拡大を防ぎつつ活動していきたいと思います。 下半期もよろしくお願いいたします。



もう一歩踏み込んで

京都ウイングワイズメンズクラブ 会長 木下 敬悟

「今期こそは」で意気込んでいたところを、蔓延防止等重点措置下の中 1 時間の時短例会にてのキックオフからスタートしたが、いつもどうりのウイングクラブメンバーの意気込み・サポートにより半期を乗り越えられたと思います。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。上半期事業は、Yサのリトセン開設ワーク・今年最後になる 2 週続けてのサバエ開設ワーク・サバエキャンプ場で行われる最後のソラシドキャンプ・制限下の中で行われたリトセンオータムフェスタ。Yサ事業は形は変えながらコロナ禍前の事業数行うことが出来ました。CS事業の方ですが、支



援先の事情もあり成望館さんのふれあい祭り・リブラン京都さんのバザーサポートは2年続けて中止となり、支援金や支援先の制作されている商品を購入して売り上げを寄付する形で支援させていただきました。ワイズで一においては、25 名以上で参加させていただきました。交流事業は、現在の状況下を鑑みてIBC・DDC先の現状把握そしてオンラインでの交流の模索・新たなDBC先の模索を東日本区に絞り進めています。ファンド事業は、例年のじゃがいもファンドを軸にうなぎ・ボージョレーファンドを行い下半期にも委員長が施行を凝らしたファンド事業を行う予定です。EMC事業は、10 月にゴルフコンペを行い下半期にはメンバー間でのEMC討論会2回開催予定です。下半期には、Yサはリトセンさくらフェスタ、CS事業としての車いす駅伝競技のサポートなど多数の事業が行われる際には全力で活動させていただきますので、下半期もよろしくお願いします。また新たな脅威であるオミクロン株もでてきましたが、感染拡大を防ぎつつ活動していきたいと思います。下半期もよろしくお願いいたします。



らんとあかんやろ!

京都部ワイズデー 写真館

海岸清掃編









主題

『新たな道を求めて』

洛中の原点から・・・未来の洛中へ

京都洛中ワイズメンズクラブ 会長 坂井 昇

今年は、昨年のコロナ禍における騒動で何もできずに終わったのを回復すべく張り切っていたのですが、残念ながら、前期はほとんどの我がクラブの事業が(ホテル例会も含めて)中止せざるを得ませんでした。何とか京都部各事業委員会の懇談会・懇親会が開かれたり、YMCAの事業委員会が開催されたり、ワイズデーが中村部長・部主査のご努力で開催され活動は続けていられました。そして少人数での役員会は何とか続けられ洛中の活動は書面や対面で順調に推移してまいりました。そして今年度の重要活動である、DBC「富士五湖クラブ」との合同例会が11月に政府のコロナ



規制解除がなされたなか、洛中メンバー・メネット 10 名で伊豆の伊東市で訪問してまいり参りました。伊東市の名所を二日間にわたり富士五湖クラブの心を込めた接待に一同感激いたしました。もちろん夜はワイズ談議で一晩語り合うというワイズならではの交流を深め、ワイズの交流の重要性を再度確認できることとなりました。メンバーとこのように語り合える喜びを再び感じられ、ワイズの持ってる精神をみんなで共有することができたでしょう。これこそ洛中の精神『楽志』を体現したものでしょう。以降、先日スケジュール通り、多くのメンバーを集めドライバーの企画通り「忘年会例会」が大いに盛り上がり次は、これも予想に反して多くのメンバー・メネット・コメット・孫メットを集めクリスマスファミリー例会が開催されます。いよいよ『洛中・再起動』の時が近づいてまいりました。次期・次々期等々の会長も内部決定し、洛中の未来に洋々たる大海が開けている様子です。なかなか進まなかった洛中の再編ですがメンバーの熱意と情熱で一歩づつですが着実に進んできた模様です。急激な膨張は魅力ではありますが内部分裂の危険もはらみます、YMCA 精神を理解し、ワイズの精神に賛同する仲間を着実に増やしてゆく、そうゆう方向で(理想論であることは重々わかっておりますが)洛中は進んでゆくことになると思います。私も年齢的にはもう引退の時でしょうが、まだまだ YMCA・ワイズの仲間たちと喜び・遊び少しでも世の中のお役に立つように働きたいと思います。世界のワイズの仲間たち宜しくお願いいたします。





みんなを守りながら、心を届ける。

礼 (人の世に秩序を与える礼儀礼節の事)

京都エイブルワイズメンズクラブ 会長 山根 拓也

世の中がココナ、コロナで奉仕活動の停滞が続き、ほとんど何も出来ない状態の半期でいたが、緊急事態宣言が解除され、クラブ例会や親睦会が開催されるようになり、少しずつ奉仕活動ができる様になりましたが、まだまだ気の弛みを許さない状況でエイブル地域奉仕・青少年育成の一つ、少年少女サッカー大会も1月30日(日曜日)の予定でしたが、子供たちはワクチン接種していない事を鑑みて本年度も中止としました。ここに至ってオミクロン株の発生が話題になり、先行き不安な状況で子供たちには申し訳ない気持ちでいっぱいですがクリスマス例会中止して、クラブ内メンバーの結束を固める為の懇親例会に変更しました。予算の事もありますが、支援先に少しでもクリスマス寄付などを考えようと思っています。今更ながらではありますが、ワイズデーの SDG 's の海岸清掃の「べっぴんな海に大作戦」が大成功に開催され拍手を送らせて頂きます



in Rising Sun

al みんなで乗越え未来に光を!

京都グローバルワイズメンズクラブ 会長 藤原 君仁

今期前半も前年度と同じくコロナで制限がかかる中での活動が大半となりましたが、三役、事業委員長、メンバーの皆様にご協力とご理解を頂き、無事に活動をする事が出来たことにまずは感謝申し上げます。当クラブの例会につきましては、7月・8月は時短での例会開催、9月は残念ながら中止という判断を取らせて頂きましたが、10月より通常時間での例会を開催することができ、2年ぶりの家族例会・クリスマス例会も多くのメネット・コメットにご参加いただき無事開催することができました。また3クラブ合同例会も2年ぶりに開催でき、プリンスクラブ・ウェルクラブの皆様とも交流させていただき、



ホストとしてご準備くださいましたプリンスクラブの皆様に感謝申し上げます。

各事業につきましては、リトセン夏期ワークで始まり、リトセン秋期ワークは役員会の判断で不参加となりましたが、じゃがいもファンドでは大きな収益上げる事ができ、ワイズデーでは、久しぶりに遠方で多くの京都部の皆様と舞鶴の海岸を清掃する活動をさせて頂き、本当に良い経験・体験をさせて頂きました。また、今期は前半で新しい仲間3名の入会がありました。コロナ禍で新入会員を迎える事はクラブにとって本当に嬉しい事で、より一層クラブ運営に気を引き締めて努める思いになりました。後半は多くの事業が集中し、京都部会と西日本区大会なども開催されます。できる限り多くの事業に参加し、残り半期もメンバーが充実したクラブライフを送れるように致します。

年末年始でコロナの変異株が急増しており、不安な状況が続いておりますが、

制限のない日常に戻れることを心よりお祈り申し上げます。



主題 **賛否** 副題 転生

京都みやびワイズメンズクラブ 会長 **奥谷 彰宏**

コロナ禍のせいで何もしないまま、半期が過ぎたような気がいたします。

コロナの状況での、例会場として使わさせて頂いていたホテルの廃業報告を機に以前からのクラブメンバーの減少、高齢 化とゆう現状から合併もしくは解散とゆう方向に舵を切らざる負えない状況となってしまいました。

今現状 6 名(内 1 名はお仕事のご都合でほぼ東京におられます)でのクラブ活動、 1 人 1 人の負担が大きく、楽しむ事が程遠くなりストレスに変わってしまい、メンバーさんがコロナ禍でのクラブ運営が停滞し少し客観的に見れたのかもしれません (汗)ですがまだ踏ん張りたいメンバーもおられます、私自身も 2 8 年間続けさせて頂き、正直迷っております。後期は部長、ウエストの森田ワイズにご相談、ご助言等を頂き、時間をかけてメンバーの納得いく答えが出ればと思っております。他クラブの皆様にはご心配、日頃のクラブ活動でのご迷惑をお掛けしておりますが、最終結論が出ましたら、どの様な報告の仕方になるかわかりませんが、必ずご報告させて頂きますので、静観して頂ければ幸いです。



主題

All fun, all the time

~魅力あるクラブへ~

京都トップスワイズメンズクラブ 会長 **今西 宏樹**

あっという間に今期も半年が過ぎ、これまで三役、委員長はじめメンバーの皆さんに支えられて楽しくやってこられた事に感謝しております。コロナ禍がおさまることなく始まった今期ですが、10月に緊急事態宣言が解除され、そこからはワイズ漬けの日々になり、とても充実した日々を過ごせたと思います。11月にはワイズデーや瀬戸山陰部部会で久しぶりの泊りでメンバーや他クラブと交流ができ、12月のクリスマス例会は2年ぶりに開催され、お酒も2年ぶりに解禁になり、メネット、コメットもたくさん参加していただき楽しい例会になりました。また今期は、新山理事が西日本区300名増員を目標とし、トップスクラブでは20名増員を目標



にしまして、EMC委員長のゲスト交流会という新たな企画もあり、半期を過ぎ7名の入会者を迎え入れることができました。そしてアウトプットの場としてビジネスプレゼン大会やコロナで開催していなかったトップス経営塾も開催できました。このようにトップスクラブは、ただの奉仕クラブではなくなってきて、どんどんと活動の幅を広げていっています。メンバーは経営者やそれに準ずる役職の人ばかりなので、やはり経営の勉強や情報を求めていますので、下半期もどんどんこれらの事業は行っていきたいと思います。下半期は、まず2月のチャリティーボーリングのホストクラブとして動き出し、それが終わるとクラブとしては西日本区大会へ向けて本格始動になり、忙しくなると思いますので、残り半期の会長期を満喫しようと思います。また新たな脅威であるオミクロン株もでてきましたが、感染拡大を防ぎつつ活動していきたいと思います。

下半期もよろしくお願いいたします。



stay hungry

現状に滿足せず変化を楽しもう

京都トゥービーワイズメンズクラブ 会長 **宮田 雄輔**

早いもので半期が過ぎました。8月はコロナの感染者が増えたことをうけ 急遽 ZOOM での例会に変更したこともありましたが、中止することなく 月2回の例会を実施することができたのは何よりの喜びです。

今期はメンバー増強を目標に掲げています。そのため 7 月早々に牧野 EMC アドバイザーに例会にお越し頂きクラブ活性化・メンバーの意識向上 のための講演をして頂きました。このお話は会歴の浅いメンバーからは特に好評で、ゲストを呼ぶ意識が高くなったと感じました。

その後、9 月から 4 度ゲストスピーカー例会を実施しましたが、普段はゲストを呼ばないメンバーも積極的にゲストを連れて来られ賑やかな例会となりました。またゲストとメンバーが交流する様子が見られ牧野 EMC ア



ドバイザーに講演をして頂いた効果を感じました。結果的に上半期はコロナの影響により 3 名減となりました。しかし、1 月には入会式を行います。例会へのゲスト参加→即入会とはなりません。ただ、メンバー候補となるゲストの参加がないことには、入会は増えません。引き続きゲストが参加しやすい例会を行っていきます。メンバー同士の交流との点では、コロナのため 2 年間実施出来ていなかった DBC クラブのなかのしまクラブさんとの合同例会を 2 月に予定しています。久しぶりの交流のため非常に楽しみです。また、京都クラブさん、ウイングクラブさんとの合同例会も企画しており、京都部内での交流も行っていきます。また新たな脅威であるオミクロン株もでてきましたが、感染拡大を防ぎつつ活動していきたいと思います。下半期もよろしくお願いいたします。



「appreciate the moment」この瞬間に感謝します 「仲間と共に前進する」

京都東稜ワイズメンズクラブ 奥村 昭次 会長

1 年半以上続くコロナ禍の中で始まった今期はクラブ運営にどのような影 響を及ぼすのか多少の不安やあせりがありましたが7月例会で1名の入会 式を行い幸先のいいスタートを切る事が出来ました 7 月には祇園祭りの清 掃活動を 2 年振りに再開できて沢山のゲストさま達にご参加いただいた事 は来期以降の清掃活動にも繋がると信じています。今期の会長方針にも掲 げていた女性メンバーの増強を目指し8月にはボックスフラワー体験9月 にはメラビアン・メソッドインストラクター(エクササイズやストレッチ でセルフケアを学ぶ)と女性講師に依頼してゲストさまメンバーともに好 評をいただけたので、下半期も引き続き女性ゲストさまが参加し易い例会 を委員長にお願いしてまいります。10月には緊急事態宣言が解除されて



有志の食事会も開催出来るようになりました。飲食を伴うメンバー間の交流を図れたのは大変嬉しく思います。もうひとつ メンバー間の交流に近年欠かせないのが丹波の黒枝豆狩りで毎年 10 月の収穫時期に EMC 事業の一環として行いお弁当と一緒に 採れたての黒枝豆をいただく美味しさは現地でしか味わえない貴重な経験です。上半期最大のイベントであるワイ

ズデーには舞鶴の地に 200 人以上集まってスポゴミという競技を通じて美しくなった海岸を見れたのはかけがえのない時間でし た東稜クラブでは第二例会として毎月最終日曜日の朝山科・醍醐地域を中心にクリーン活動を行なっておりますコロナ禍でもリ スクの少ない屋外での活動でリアルでメンバー同士が会える大切な活動でもあるので

下半期も変わりなく続けてまいります第 6 波の影響でイベントの中止や変更が多数ございますが今期の会長方針をブレずに下半 期も各活動を行なって行きたいと思います。



質実剛健

〜笑う門には福来る〜

今期コロナ禍の垣間見ながら私の会長期がはじまりましたが、やはりコロ ナに振り回された半期でした。上半期は新しいメンバーも招待する事もで きずでしたが、下半期は 1 人でもメンバーを増やす努力をもしていきたい と思います。半期を振り返り何とかドロップアウトするメンバーも出さず に良かったです。我が京都ウェルクラブホストの京都部会も去年に引続き コロナで延期となりましたがこの 4 月にはコロナも落ちついて開催に持っ ていきたいと思ってます。何とかクラブメンバーも引き継いで頑張って助 けて頂いて何よりの力となってます。又、他クラブに於いても大変な力添 えもありモチベーションの力となっております。この力添えに用いて下半 期、コロナと戦いながら走り終わりたいと思っておりますので力添え宜し く御願いします。

京都ウェルワイズメンズクラブ 福井 義泰 会長





[躍進!!!]

~達成感をもって人生に彩りを。そして次の10年へ~

京都 ZERO ワイズメンズクラブ 会長 **澤井 美智子**

今期、会長から各事業委員会に3つのお願いをしました。

1つ目は「達成目標」の設定です。自分たちで決めた目標の達成に向けて 事業計画を練り、クラブのメンバーに発信し、クラブ活動にやりがいを感 じてもらいたい、との思いからです。結果、半期が過ぎた現在、ほとんど の事業委員会が50%以上の達成率を掲げています。今期、全般的に事業 に参加してくれるメンバーもとても多いです。やはり委員長の熱い呼びか けがクラブメンバーの心を動かし、出席率につながるのだと実感しました。 そして参加者の多い事業はやはり楽しい!みんなでワイワイおしゃべりし ながらするワークは楽しいのです。

2つ目は、「担当例会」の設定です。例会運営はドライバーがしますが、



その中のメインプログラムの企画を委員会にお願いしました。自分達で考えた事業方針をメンバーに、例会という一番大切な場で発信してお互いのしている事業を理解しあいたいとの思いからです。こちらに関しては、上半期は残念ながらコロナの影響で例会運営がままならず、まだほとんどの委員会が実施できていませんが、下半期がすごく楽しみです!

3つ目は、1回でいいので、委員会メンバー 100%出席委員会の達成です。少人数であってもこれがなかなか難しい。ですが、委員会に出席してこそ事業も例会も楽しくなっていくと思っていますので、そこは委員長さんの腕の見せ所!ご自身の委員に熱心に呼びかけていただいて、達成できた委員会も出てきました。

上半期は例会を月1回に減らしていましたが、下半期は通常通り2回に戻します。といった矢先のコロナの再拡大ですが、対策もずいぶん明らかになってきておりますので、なんとか2回実施していければと思います。

上半期新規入会者4名、下半期3名決定!!まだまだ増殖中♪

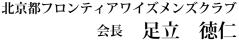
ZERO クラブ、とても元気な楽しいクラブです♪ (写真:新年例会で各自今年の抱負を書初めして発表しました)



Begin Again

今できることを一つずつ

昨年に引き続きコロナ禍でのクラブ運営となりましたが、昨年でのノウハウもありましたので7月以降通常に例会を行うことができました。7月例会では、中村部長に公式訪問いただき、11月のワイズデーに向けての想いを聞かせていただき、フロンティアクラブとしても盛り上がっての今期のスタートを切ることができました。そして11月7日のワイズデーでは京都部各クラブより多くのメンバーに舞鶴までお越し頂きましたが、フロンティアクラブとしても京都部のご協力をさせて頂く中で、自クラブだけでは経験できない大きな学びを頂きました。当日参加いただいた方、また前日より舞鶴にお越しいただいた皆様有難うございました。本年度のメイン行事でもある第2回YMCA杯学童野球大会ですが、今年も雨の影響で日





程を変更しながらの開催となりました、11 月 28 日、12 月 5 日と 2 週に渡っての開催となりましたが、舞鶴市内のすべての学 童野球チームに参加いただき、見ている私たちも感動する素晴らしい試合が繰り広げられました。今年はサプライズで開会式に 元プロ野球選手の門倉健様にもお越し頂き、始球式をおこなったのですが、子供たちだけでなくご家族の皆様や監督・コーチに も喜んでいただくことができました。協賛いただいた企業様をはじめご協力いただいたすべての皆様に心から感謝を致します。1 月に入りオミクロンの影響で舞鶴市内においても感染者数が増加しておりますので、また難しい運営になりますが後半戦も楽しんでいきたいと思います。



ワイズメンズクラブ 国際協会 西日本区 2021~2022 年度 京都部

